

公益認定要件確認書(概算)

法人名 公益社団法人藤沢市医師会 様

当法人の令和5年3月期における公益認定要件の状況は以下のとおりです。

1. 公益認定要件 財務三基準

(1) 収支相償

第1段階

公1 収益△費用	△ 37,705,615	≤0の場合問題なし
公2 収益△費用	△ 41,460,419	≤0の場合問題なし

要件クリア

第2段階

公益目的事業等会計 収益△費用	△ 79,166,034
令和3年度の剰余金	78,160,419
収益事業からの繰入額※	221,453,600

※利益の50%で計算

計

220,447,985 ≤0の場合問題なし

不適合

【検討事項】

令和4年度の公益目的事業のみでは赤字ですが、新型コロナウイルスに関する発熱外来(診療)に関連し診療報酬増加により、令和3年度の剰余金及び令和4年度の収益事業の利益繰入額の影響で、第2段階において要件不適合となっている。そのため、令和5年度以降の中長期費消計画を検討する必要がある、当該費消計画といたしましては、以下の通りです。

①翌々期(原則2年間)の公益目的事業への赤字充当額(令和5年度の予算書より) 40,925,197円×2年=81,850,394円
県との協議により3年間分の公益目的事業への赤字充当額 40,925,197円×3年=122,775,591円

②～⑦の組み合わせにより①を除く公益目的事業への赤字充当額 138,597,591円(①が3年間の場合 97,672,394円)

②共通経費の按分比率の見直し

③特定費用準備資金の積立

④資産取得資金の積立

⑤公益目的保有財産(基本財産)として保有

⑥公1、公2事業における既存事業内容の拡大

⑦公1、公2事業内又は公3の新規事業による費消

なお、②～⑦のメリットデメリット等の検討事項は別紙参照。

(2) 事業費率

公益目的事業費÷(公益目的事業費+その他会計事業費+法人会計費用)＝

70.8%

50%以上の場合問題なし

要件クリア

(3) 遊休財産保有制限

●遊休財産額

資産額(＝負債額+正味財産額)

2,470,961,482 円

① 控除対象財産額

905,136,859 円

特定資産計

8,925,395

その他固定資産計

896,211,464

②流動資産に対応する負債額

流動負債+引当金

294,017,390

294,017,390 円

(リース資産を控除対象財産としているため、リース債務を除く。)

資産額-①-②＝

1,271,807,233 円

【③遊休財産額】

令和4年度公益目的事業費＝

1,493,562,103 円

【④保有限度額】

③≤④の場合問題なし

要件クリア